



南アルプス市議会議員／防災士

桜田ちから

2020年
秋号

議員活動報告

Vol. 04

新型コロナウイルス感染症の拡大が、私たちの日常生活や経済活動に大きな影響を及ぼしています。その状況下で多くの方々が私たちの生活の基盤を支えてくれていることに心より感謝申し上げます。更なる感染拡大を防ぎ、社会・経済を維持するためには、私たち一人ひとりが「新しい生活様式」を実践し日常生活に取り入れることが必要です。新しい生活のなかで新たな価値を見出して幸せを感じることができるように頑張りましょう。

さて、初当選から4年になろうとしています。この間、市民の皆様はじめ同職及び関係者のご指導を賜りながら、南アルプス市民の暮らしに少しでも貢

献したいという想いで議員活動に取り組んでまいりました。活動を通じてまちづくりの難しさと素晴らしさの両面を学び、地方議員としての責任を果たすことの重さや「まちづくりの主役は、市民でなければならない」との思いをより強くしてまいりました。

今回の活動報告書には、直近の議会報告に加え4年前に市民の皆様とお約束した事項に対する取り組み実績とまちづくりに対する私の新たな想いを掲載させていただきました。ご一読いただき、ご意見などお寄せいただければ幸いです。

桜田ちから



Sakurada Chikara

議会活動

2019年12月 第4回定例会一般質問



2019年10月13日 台風翌日

- 台風19号接近時の市の対応、第2次備蓄計画、市の総合計画後期基本計画の策定において危機管理体制をどう位置付けるのか。
- 政策推進課の研究テーマ及び部局毎の年度目標達成率と有効性の評価など行政改革の実情は。

2020年3月 第1回定例会一般質問

- 市が目指す行政改革の視点と行政改革推進委員会のあり方についての市の考えは。また、SNSとアプリケーションを駆使した技術で行政システムの改善をはかる考え方があるか。
- 令和元年8月に施行された「棚田地域振興法」を本市の棚田地域の振興のために活用する考え方があるか。

2020年6月 第2回定例会一般質問

- 新型コロナウイルス感染症対策における経済支援の実情と今後の対応は。また、地域防災計画や避難所運営マニュアルに「感染症対策」を追加することへの市の考えは。
- 感染の2波・3波発生の懸念がある中で、新しい生活様式の定着や地域経済回復に全力を注がなければならない状況である。緊急性を要しない「エコバ伊奈ヶ湖開発計画」は凍結をすべきと考えるが市の考えは。



南アルプス市議会
代表・一般質問のインターネット放送
(YouTube配信)



2020/06/26公開

【一般質問】桜田力議員(未来創政の会)
新型コロナウイルス感染症対策における
経済支援等の実情と今後の対応について

HPでもご覧いただけます



4年前の約束



力の限り挑戦

私の活動の原点は
4年前に市民の皆様とした
3つの約束です

① 安全そして安心して 暮らせるまちづくり

- ・災害対策の強化
- ・地域福祉活動事業の推進

② 新たな基幹産業の育成

- ・農業の6次化を基盤とした農業振興と地域活性化
- ・エコパークの持続的発展と観光産業への活用

③ 将来を担う人を育てる

- ・子育てを社会全体で担う支援体制の充実
- ・地域コミュニティを支えるための核になる人材の育成

上記の3つの約束を議員活動の基本としてきました

Sakurada Chikara

議員活動実績

質問時間(4年間)

837分

【防災・減災活動】

- 平成29年 ・「櫛形西地区防災士・防災リーダー連絡会」を設立
- 平成30年 ・「南アルプス市防災リーダー連絡協議会」を設立
・櫛形西小学校を会場に300名以上が参加して避難所開設訓練を実施
・放課後児童クラブ等を会場に、子供たちに「自分の命は自分で守ることを教える「夏休み防災スクール」を開催
- 令和元年 ・定例会で、災害によるブロック塀倒壊の危険性を訴え
「南アルプス市ブロック塀撤去改修事業費補助金制度」の制定(令和元年6月)が実現
- 令和2年 ・下市之瀬区と甲斐ダイアログシステム(株)との間で「災害時における地域支援に関する覚書」を締結
・定例会で、指定避難所と備蓄計画のあり方について提案を行い(他会派からも提案あり)令和2年度より市内21か所の指定避難所に防災倉庫と備蓄品を設置する事業がスタート
今年度は、芦安小・源小・若草南小・櫛形西小の4か所に設置予定



2020年3月26日
防災覚書調印

【地域活性化】

- 平成30年 ・「多面的機能支払交付金制度」と「中山間地域等直接支払制度」の併用を実現
櫛形西地区で年間350万円ほどの交付金を受けた保全会活動がスタート
・地域の支えあい協議体活動組織「ラヴィの会」を設立して、落語会・コンサート・映画会・体操などのイベントを開催

【行政改革】

- 平成31年 ・近隣自治体での研修で学んだ危機管理・リスク管理体制の一元化の推進を定例会で提案し、平成31年4月より消防団・防災・防犯・交通安全を一元化管理する組織体制が実現

【教育】

- 平成29年～令和2年 ・山教組中巨摩支部などから提出される請願の紹介議員として4年間活動。子どもたちのゆたかな学びや先生方の働き方改革の実現を目指した「教職員定数改善、少人数学級推進及び義務教育費国庫負担制度拡充を図る」意見書を国に提出

【議会改革】

- 平成30年 ・大災害発生時の市議会の対応を定めた「南アルプス市災害対策支援要領」を市議会に提案し要領として制定

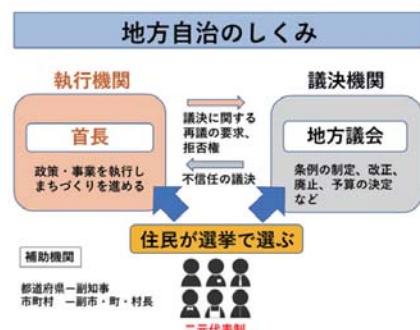
Sakurada Chikara

私のまちづくりへの想い



「市民、議会、行政の協働によるまちづくりが必要です」

✓ 地方議員として



①議会人としての責任

私たち地方議員の最大の役割は「チェック機能としての責任を貫くこと」であり、議論を重ね市民のために是々非々で対応する議会の在り方が求められています。地方議員はどうあるべきかを一人ひとりが認識してその役割を果たすことが必須ですし、より効率的な議会運営を目指すためには、議員定数の削減も含めた議会改革を進めることが重要だと感じています。

②市の将来に向けて

南アルプス12ha(旧完熟農園跡地)とその周辺エリア(50~60ha)の開発計画が進められようとしていますが、市の将来に大きく影響する計画です。十分な議論を行った上で方向性を示して南アルプス市の発展に繋げることに責任を持つ行動が必要です。

少子高齢化の進行や人口減少、コロナウイルス感染症対策などが今後の行財政運営に及ぼす影響は計り知れません。このため行財政改革に本腰を入れて取り組む必要を強く感じています。また、私たちが生涯を通じて学習することで、社会や経済の変化に対応し、心の豊かさや生きがいを創出する生涯学習のあり方について、市民の皆様や行政と真剣に考えて行くことの重要性も強く感じています。

✓ 防災トップランナーとして



下市之瀬区内
隔月発行
ホームページで公開中!!



中小企業白書2019 我が国における自然災害の発生状況より

✓ 地域の代表として



南アルプス市の基幹産業は農業です。全国や世界に誇れる美味しい果物や野菜を生産する農家の方々が大勢おられます。しかし、近年少子高齢化、人口減少、職業観の変化などを背景に農業の後継者不足による荒廃農地の拡大が大きな問題となっています。私は、この実情を市民の皆様の郷土愛による「支えあい活動」と企業との連携で解決できないと考えています。豊かな自然のこの地が若い人たちの交流や活動の拠点となつたらすばらしいと考えています。



2019年11月 クラインガルテン収穫祭